



ASUS MeMO Pad ユーザーマニュアル

ASUSは環境に優しい製品・パッケージ作りに取り組んでおり、環境に及ぼす影響を最小限に抑えると同時に、消費者の安全と健康への配慮を行っております。二酸化炭素の排出量削減のため、ユーザーマニュアルのページ数を削減しました。

ユーザーマニュアル完全版および関連情報は、本機に収録のユーザーマニュアル、またはASUSのサポートサイトをご参照ください。

<http://support.asus.com/> (英語)

<http://www.asus.co.jp> (日本語)

Copyrightについて

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、すべての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証も行いません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害（利益の損失、ビジネスチャンスの喪失、データの損失、業務の中断などを含む）に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、内容は予告なしに変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容についてASUSは責任を負いません。

Copyright © 2013 ASUSTeK Computer, Inc. All Rights Reserved.

責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害（死亡したケースを含む）と不動産及び有形財産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作为または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証を行いません。

- (1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
- (2) ユーザーの個人情報やデータの損失
- (3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

サービスとサポート

マルチ言語サポートサイトを開設しました。下のリンクで画面右上の「Global/English」を「Japan/日本語」に選択してください。

<http://support.asus.com>

もくじ

本マニュアルについて	6
このマニュアルの表記について	7
表記	7
安全上の注意.....	8
本機の充電.....	8
MeMO Padを使用する	8
航空機内での使用について.....	8
パッケージの内容.....	9

Chapter 1: ハードウェアのセットアップ

MeMO Padの概要.....	12
前面	12
背面	13

Chapter 2: MeMO Padを使用する

MeMO Padのセットアップ	18
本機の充電.....	18
本機の電源をONにする.....	20
本機での操作.....	21

Chapter 3: Android®環境で使用する

初めて使用する	26
Androidロック画面.....	27
デバイスのロック解除.....	27
ロック画面に壁紙を追加する	28
ロック画面にウィジェットを追加する.....	28
ホーム画面	29
画面表示	30
画面の向きを固定する.....	31
ネットワークへの接続	31
Wi-Fi ネットワークへの接続.....	31
Bluetoothを使用する	32

アプリの管理.....	34
アプリのショートカットの作成	34
アプリをホーム画面から削除する	34
アプリ情報.....	35
アプリフォルダー	36
最近使用したアプリ	37
タスクマネージャー	39
ファイルマネージャー	40
内部ストレージへのアクセス	40
外付けストレージへのアクセス	40
設定	42
本機の電源をOFFにする.....	45
本機をスリープモードにする	45

Chapter 4: プリインストール済みのアプリ

プリインストール済みのアプリ	48
音楽の再生.....	48
カメラ	50
ギャラリー.....	52
メール	59
Gmail	61
Play Store	62
マップ	63
MyLibrary Lite.....	65
SuperNote Lite	70
ASUS スタジオ	76
BuddyBuzz.....	79
AudioWizard	80
ASUS Artist.....	81
App Locker	83
アプリのバックアップ.....	86
ウィジェット	91
ASUS Battery.....	93

付録

Federal Communications Commission Statement	96
RF Exposure Information (SAR)	97
Canada, Industry Canada (IC) Notices	97
Canada, avis d'Industrie Canada (IC)	98
IC Warning Statement	98
EC Declaration of Conformity	99
聴覚障害を防ぐため	99
CE Mark Warning.....	99
RF Exposure information (SAR) - CE	100
Power Safety Requirement	100
Regional notice for Singapore	100
回収とリサイクルについて	100
電気・電子機器に含有される化学物質の表示について	101
筐体のコーティングについて	101
自動車の運転	101
電子機器	101
その他の医療機器	102
自動車内の装備.....	102
標識、表示等	102
磁気メディア	103
その他の安全に関するガイドライン	103
廃棄・リサイクルについて	104

本マニュアルについて

このマニュアルには本機のハードウェアとソフトウェアについての説明が記載されており、以下のChapterから構成されています。

Chapter 1: ハードウェアのセットアップ

本機のハードウェアとコンポーネントについての説明が記載されています。

Chapter 2: MeMO Padを使用する

本機の使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 3: Android®環境で使用する

本機でのAndroid®の使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 4: プリインストール済みのアプリ

本機にプリインストールされたアプリについての説明が記載されています。

付録

製品の規格や海外の法令についての説明が記載されています。

このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱いいただくため、以下の表記をご参照ください。

重要: 作業を完了するために従わなければならない事項です。

注: 作業を完了するためのヒント等の追加情報です。

警告: 作業を行う際、人体への危険を避けるため、または本機のコンポーネントへの損害、本機内のデータの消失を避けるために、必ず従わなければならない事項です。

表記

太字 = 選択するメニューや項目を表示します。

安全上の注意

本機の充電

長時間バッテリー電源のみを使用する場合は、完全にバッテリーを充電してからご使用ください。電源アダプターが本機とコンセントに接続されていれば、バッテリーは自動的に充電されます。本機の電源がONの場合は充電時間は長くなります。

重要: 本機のバッテリーが完全に充電されたら、電源アダプターを本機から取り外してください。コンポーネントによっては、長時間の充電により劣化が起こる場合があります。

MeMO Padを使用する

本機は0~35°Cの周囲温度でご使用ください。

高温または低温となる場所での使用は電力消費が増えバッテリーの寿命が短くなる原因となる場合があります。バッテリーの寿命を延すためにも、定められた周囲温度の範囲内でご使用ください。

航空機内での使用について

多くの航空会社では電子機器の使用に対して規定を設けています。航空機内での本機の使用については、各航空会社にお問い合わせください。

重要: 本機をハードディスクをX線装置（ベルトコンベアー）に通すことは問題ありませんが、磁気センサーや磁気ワンドはお避けください。

パッケージの内容



ASUS MeMO Pad



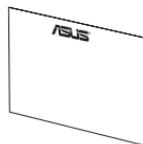
電源アダプター



Micro USBケーブル



ユーザーマニュアル



製品保証書

注:

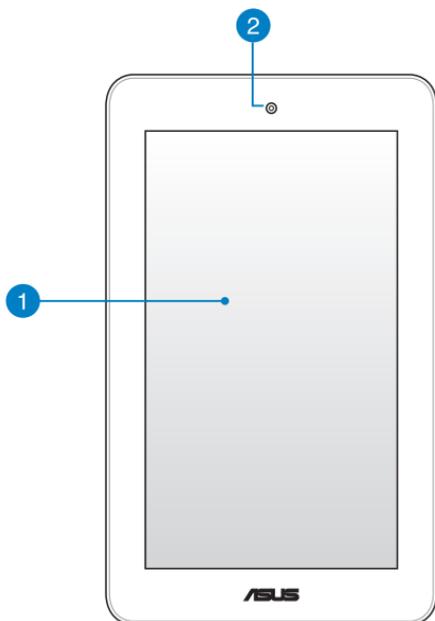
- 付属品が足りないときや破損しているときは、お手数ですが販売店様にご連絡ください。
 - 付属の電源アダプターは、お買い上げの地域により異なります。
-

Chapter 1:

ハードウェアのセットアップ

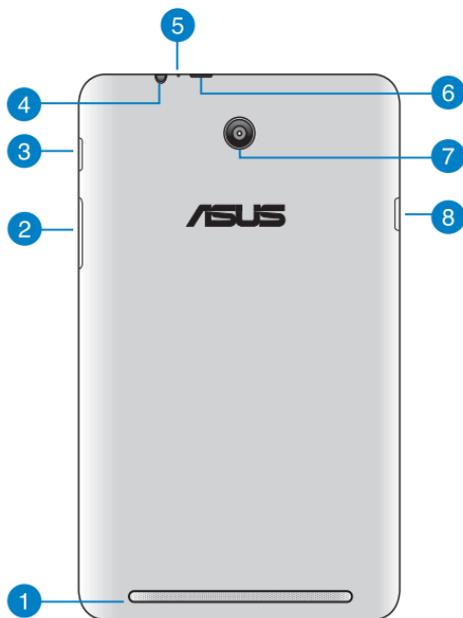
MeMO Padの概要

前面



- 1 タッチスクリーンパネル**
タッチスクリーンパネル上を指またはスタイラスペンでなぞることでタッチ操作が可能です。
- 2 インカメラ**
本機内蔵のカメラで、画像の撮影と動画の録画が可能です。

背面



1 オーディオスピーカー

内蔵スピーカーにより、スピーカーを追加しなくてもオーディオをお楽しみいただけます。オーディオ機能はソフトウェア制御です。

2 音量ボタン

このボタンで音量を調節します。

3 電源ボタン

電源ボタンを2秒間ほど押すと、電源OFFの状態からは電源がONに、スタンバイモードからはシステムが復帰します。

本機の電源をOFFにするには、電源ボタンを約2秒間押し、「電源を切る」→「OK」の順にタップします。

本機をロック、またはスタンバイモードにするには、電源ボタンを軽く押します。

システムからの応答がなくなった場合は、電源ボタンを約8秒間押し、強制終了してください。

重要:

- 本機の操作を15秒以上を行わないと、システムは自動的にスタンバイモードに移行します (初期設定時)。
- システムの強制終了を行うと、プログラムで保存していないデータは失われる場合があります。重要なデータは定期的にバックアップを取ることをお勧めします。

4 スピーカー/ヘッドセットポート

スピーカーやヘッドホンを接続し、本機のオーディオ信号を出力します。

重要: 外付けマイクはサポートしていません。

5 マイク

ビデオ会議、ナレーション、簡単な録音などの用途に使用することができます。

6 Micro USBポート

このポートを使用して本機への電源供給とバッテリーの充電を行うことができます。また、コンピューターと本機でのデータ転送も可能です。

注: 本機をコンピューターのUSBポートに接続すると、本機がスリープ (スクリーンがOFF) 状態または電源がOFFの時に充電されます。

7 アウトカメラ

本機内蔵のカメラで、HDレベルの画像の撮影、動画の録画が可能です。

8 microSDカードスロット

本機には数種類のフラッシュメモリーカード (microSD、microSDHC) を書き込み、読み取ることのできる高速のカードリーダーが内蔵されています。

Chapter 2:

MeMO Padを使用する

MeMO Padのセットアップ

本機の充電



手順

- A USBケーブルを電源アダプターに接続します。
- B Micro USBコネクタを本機に接続します。
- C 電源アダプターを電源コンセントに接続します。



初めてバッテリーを使用する場合は、バッテリーを完全に充電してからご使用ください（約8時間）。バッテリーの寿命を延ばすことに繋がります。

重要:

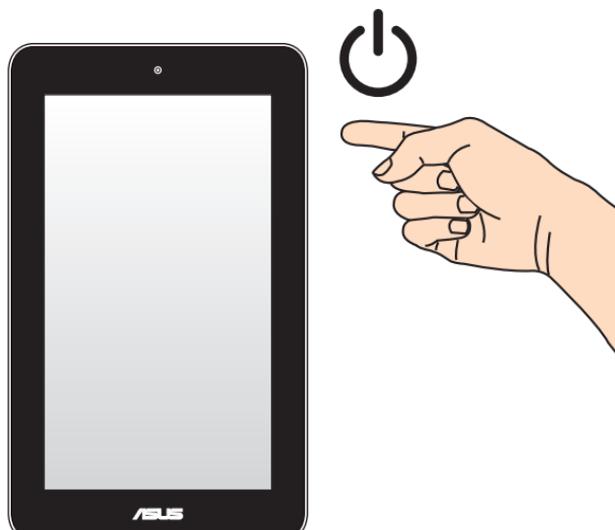
- 必ず付属の電源アダプターとUSBケーブルを使用して本機を充電してください。それ以外の電源アダプターを使用した場合、本機の故障の原因となります。
 - 本機の充電の前に、プラグ、アダプター、USBケーブルの保護フィルムを剥がしてください。故障や火災の原因となり危険です。
 - 電源アダプターを電源コンセントに接続する際は、入力定格が適切かどうかをご確認ください。アダプターの出力電圧は DC 5.2V、1.35A です。
 - 本機のバッテリーが完全に充電されたら、電源アダプターを本機から取り外してください。コンポーネントによっては、長時間の充電により劣化が起こる場合があります。
 - 本機を電源アダプターに接続しているときは、電源コンセントや電源タップの近くでご使用ください。
-

注:

- 本機をコンピューターのUSBポートに接続すると、本機がスリープ（スクリーンがOFF）状態または電源がOFFの時に充電されます。
 - USBポートからの充電は、通常の充電方法より時間がかかります。
 - コンピューターのUSBポートからの供給電力が十分でない場合は、本機をコンセントに接続し充電することをお勧めします。
-

本機の電源をONにする

本機の電源をONにするには、電源ボタンを約2秒間押します。



本機での操作

タッチパネルで次の操作を行い、アプリの起動や設定画面の操作を行います。

ドラッグ/タップ&ホールド/長押し



- アプリを移動するには、アプリをタップしたまま移動先までドラッグします。
- メイン画面からアプリを削除するには、アプリをタップ&ホールドし画面の上までドラッグします。
- スクリーンショットを撮るには、をタップ&ホールドします。

注: この設定を有効にするには、 → 「ASUS カスタマイズ設定」で「マルチタスクボタンを長押しして、スクリーンショットをキャプチャする」を選択します。

タップ/タッチ



- アプリを起動するには、アプリをタップします。
- ファイルマネージャーでファイルをタップし開きます。

ズームアウト



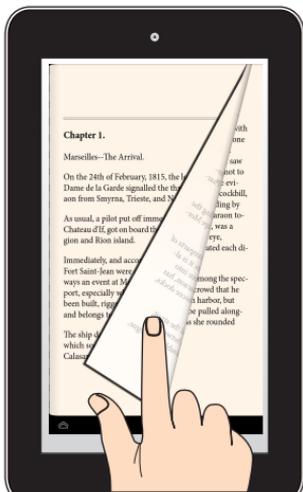
タッチパネル上で2本の指先の間隔を狭めます。

ズームイン



タッチパネル上で2本の指先の間隔を広げます。

スワイプ (なぞる)



指を左または右方向になぞると、画面表示が切り替わります。書籍参照時ではページが切り替わります。

Chapter 3:

Android[®]環境で使用する

初めて使用する

本機を初めて起動するときは、Android® のセットアップ画面が表示されます。画面の指示に従って、セットアップを実行してください。

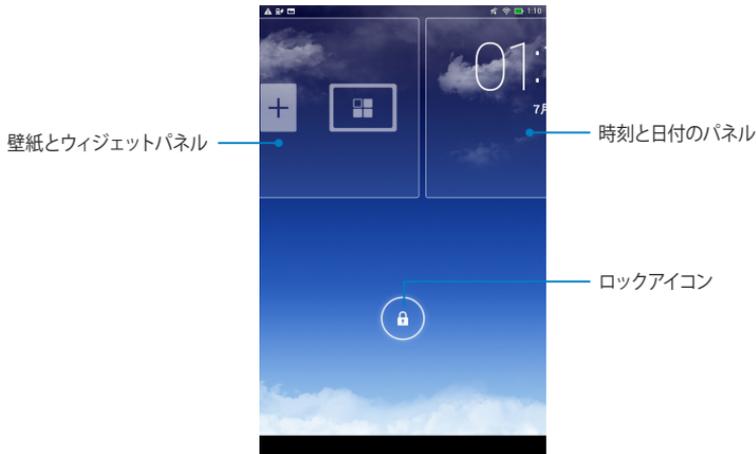
手順

1. 本機の電源をONにします。
2. 使用する言語を選択し、**次へ** をタップします。
3. 入力方式またはキーボードフォーマットを選択し、**次へ** をタップします。
4. 利用可能なWi-Fi ネットワークのリストからネットワークを選択し、**次へ** をタップします。ネットワーク接続の設定を行わない場合は、**次へ** をタップします。

注: 特定のWi-Fi ネットワークではパスワードの入力が必要な場合があります。

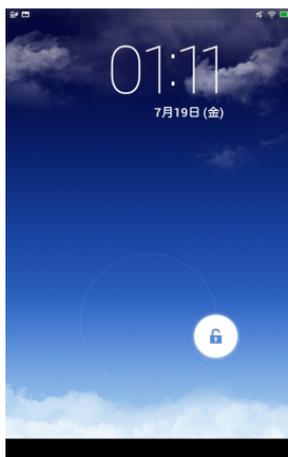
5. データ同期の種類を選択し、**次へ** をタップします。
6. 画面上の指示に従い次の設定を行います。
 - Google Account
 - Google Location Service
7. 現在地の日時を設定し、**次へ** をタップします。
8. **終了** をタップし、ホーム画面を開きます。
9. ホーム画面で「OK」をタップします。以上で初期設定が完了しました。

Androidロック画面



デバイスのロック解除

🔒をタップし🔓までドラッグします。



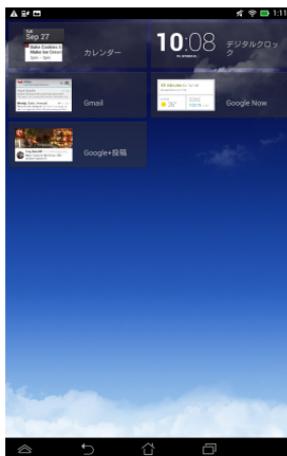
ロック画面に壁紙を追加する

時刻と日付のパネルを右方向にスワイプし、壁紙とウィジェットパネルを表示し、 をタップし、ギャラリーまたは壁紙から壁紙を追加します。



ロック画面にウィジェットを追加する

時刻と日付のパネルを右方向にスワイプし、壁紙とウィジェットパネルを表示し、 をタップしウィジェットを追加します。



ホーム画面



画面表示

内蔵のセンサーにより、本機を回転させると画面表示もそれに応じて、ポートレートまたはランドスケープに自動的に切り替わります。ポートレート表示とランドスケープ表示を切り替えるには、本機を右または左に回転させるか、水平または垂直に傾けます。

ランドスケープ



ポートレート



画面の向きを固定する

初期設定では、本機を回転させると画面の表示向きもポートレートまたはランドスケープに自動的に切り替わります。

次の手順で画面の自動回転を無効にすることができます。

1. ホーム画面の  をタップし、すべてのアプリ画面を開きます。
2.  → 「ユーザー補助」 → 「画面の自動回転」の順にタップし、自動回転を解除します。

注: 自動回転機能は「ASUSクイック設定」でも有効/無効を設定することができます。詳細はセクション「設定」をご参照ください。

ネットワークへの接続

Wi-Fi ネットワークへの接続

Wi-Fi ワイヤレスネットワークにより、無線環境でのデータ通信が可能です。Wi-Fi を利用するには本機のWi-Fi 機能を有効にし、ワイヤレスネットワークに接続する必要があります。特定のワイヤレスネットワークはセキュリティキーやデジタル証明書により保護されており、詳細設定が必要な場合があります。

注: バッテリーの電力消費を抑えるため、Wi-Fi 接続を使用しないときは、Wi-Fi 接続をOFFにすることをお勧めします。

Wi-Fi 機能を有効にし、Wi-Fi ネットワークに接続する

1.  をタップし、すべてのアプリ画面を開き、 をタップします。
2. Wi-Fi スイッチをスライドし「ON」にします。Wi-Fi 機能を有効にすると、本機は利用可能なWi-Fi ネットワークのスキャンを開始します。
3. ネットワークをタップして選択し接続します。セキュリティにより保護されている場合、パスワードまたはキーの入力が必要となります。

注: 以前に接続したことがあるネットワークを検出した場合は、自動的に接続されません。

Bluetoothを使用する

Bluetooth機能のON/OFFの切り替え

Bluetoothはワイヤレス規格の1つで、短距離間でのデータ通信が可能です。Bluetoothはスマートフォンやコンピューター、タブレットデバイス、ヘッドセット等の多くの製品で採用されています。

Bluetoothは近距離にある複数のデバイス間でデータ通信を行う際に非常に便利です。

Bluetoothデバイスに初めて接続する際は、本機とのペアリングを実行する必要があります。

注: バッテリーの電力消費を抑えるため、Bluetooth接続を使用しないときは、Bluetooth接続をOFFにすることをお勧めします。

次のいずれかの手順で、BluetoothのON/OFFを切り替えることができます。

-  をタップし、すべてアプリ画面を開き、 をタップします。Bluetoothスイッチをスライドし、ONに切り替えます。
- タスクトレイを下方方向にスライドし、「**ASUSクイック設定**」パネルを表示し、✳️ をタップします。

本機とBluetoothデバイスのペアリング

Bluetoothデバイスに初めて接続する際は、本機とのペアリングを実行する必要があります。ペアリングが1度完了すれば、接続を解除しない限りペアリングされた状態となります。

手順

1.  をタップし、すべてのアプリ画面を開き、 をタップします。Bluetoothスイッチをスライドし、ONに切り替えます。
2. 「**Bluetooth**」をタップし、利用可能なBluetoothデバイスをすべて表示します。

注:

- ペアリングしたいデバイスが表示されない場合は、そのデバイスのBluetooth機能がONになっており、検出可能な状態であることを確認します。
 - Bluetooth機能をONにし検出可能な状態にする方法は、デバイスの取扱説明書をご参照ください。
-

- Bluetoothデバイスの準備ができる前に本機がスキャンを終了した場合は、「**デバイスの検索**」をタップします。
- 利用可能なデバイスのリストからペアリングを行うBluetoothデバイスをタップします。画面上の指示に従ってペアリングを行います。必要に応じデバイスの取扱説明書をご参照ください。

本機とBluetoothデバイスの接続

ペアリングが1度完了すると、Bluetooth信号受信範囲であれば手動で簡単に再接続できます。

手順

- をタップし、すべてのアプリ画面を開き、をタップします。Bluetoothスイッチをスライドし、ONに切り替えます。
- 「**使用可能なデバイス**」のリストからペアリング済みのデバイスをタップします。

ペアリングの解除とBluetoothデバイスの設定

手順

- をタップし、すべてのアプリ画面を開き、をタップします。Bluetoothスイッチをスライドし、ONに切り替えます。
- 「**Bluetooth**」をタップし、設定またはペアリングを解除するBluetoothデバイスの脇に表示されるをタップします。
- ペアリング済みのデバイスの画面では次の操作が可能です。
 - 「**ペアを解除**」をタップしペアリングを解除する。
 - 「**名前の変更**」をタップしBluetoothデバイスの名前を変更する。
 - リスト表示された任意のプロファイルをタップし、プロファイルの有効/無効を設定する。
- をタップし、前の画面に戻ります。

アプリの管理

アプリのショートカットの作成

ホーム画面にアプリのショートカットを作成することができます。

手順

1.  をタップしすべてのアプリ画面を開きます。
2. すべてのアプリ画面からアプリのアイコンをタップ&ホールドし、ホーム画面にドラッグします。

アプリをホーム画面から削除する

ホーム画面のアプリやショートカットを削除することができます。

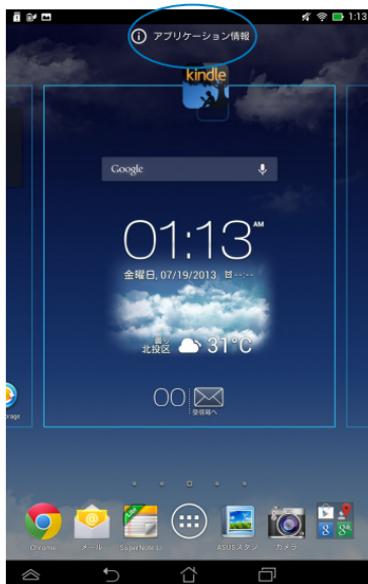
手順

1. アプリを「× 削除」が表示されるまでタップ&ホールドします。
2. アプリを「× 削除」までドラッグし、ホーム画面から削除します。



アプリ情報

アプリのショートカット作成時にアプリの詳細情報を参照することができます。アプリをアプリ画面でホールドするとホーム画面に切り替わり、アプリ情報がホーム画面の上部に表示されます。ホールド中のアプリをドラッグして「**アプリ情報**」に移動すると、アプリの詳細情報が表示されます。



アプリフォルダー

フォルダーを作成し、ホーム画面のショートカットを整理することができます。

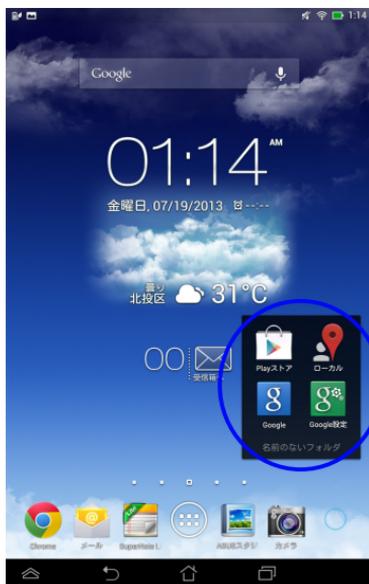
手順

1. ホーム画面でアプリまたはショートカットをタップし、黒い円が表示されるまで他のアプリまたはショートカットの上にドラッグします。

注:

- 作成したフォルダーは、透明な四角の中に表示されます。
 - フォルダーには複数のアプリを追加することができます。
-

2. 新しいフォルダーをタップし、「**名前のないフォルダ**」をタップしてフォルダーに名前を付けます。



最近使用したアプリ

この画面には最近使用したアプリのショートカットが表示されます。使用したアプリを再度開く、またアプリを切り替えるときに便利です。

手順

1. ホーム画面左下の  をタップします。
2. 最近使用したアプリがすべて表示されます。起動するアプリをタップします。



実行中のアプリを表示

1. アプリをタップ&ホールドしてメニューを表示します。
2. リストからアプリを削除するには、「リストから削除」を選択します。関連情報を参照するには「アプリ情報」を選択します。



注: アプリを左または右になぞると、リストから削除することができます。

タスクマネージャー

ASUSタスクマネージャーは起動中のアプリをリスト表示し、各アプリの使用状況を%で表示します。起動中のアプリを選択して終了することもできます。また一括ですべてのアプリを終了することもできます。

タスクマネージャーの管理

1.  をタップしすべてのアプリ画面を開きます。「ウィジェット」をタップしウィジェットメニューを表示します。
2. 「ASUS Task manager」をタップ&ホールドすると、ASUS タスクマネージャーボックスがホーム画面に表示されます。



3. ウィジェットをタップアンドホールドすると、ウィジェットのサイズを調整することができます。上下にドラッグするとタスクのリストが完全に表示されます。
4. 起動中のアプリの横にある  をタップすると、アプリが閉じます。「すべてを閉じる」をタップすると、一括ですべてのアプリを終了することができます。

ファイルマネージャー

内部ストレージまたは外付けストレージ内のデータへのアクセス、管理を行うことができます。

内部ストレージへのアクセス

内部ストレージへのアクセス:

1.  をタップし、すべてのアプリ画面を開きます。
2.  をタップし左パネルの「内部ストレージ」をタップし、本機の内部ストレージのコンテンツから項目を選択して参照します。microSDカードが挿入されている場合は、「MicroSD」をタップするとmicroSDカード内のコンテンツを参照することができます。
3.  をタップするとマイ ストレージのルートディレクトリに戻ります。

外付けストレージへのアクセス

外付けストレージへの直接アクセス

1. 画面上部の通知バーを下方向になぞり、通知ボックスを表示します。
2.  をタップし、microSDカード内のコンテンツを表示します。本機からmicroSDカードを取り外すには、 をタップします。

重要: microSDカードを本機から取り外す際は、取り外す前にmicroSDカード内のデータを保存してください。



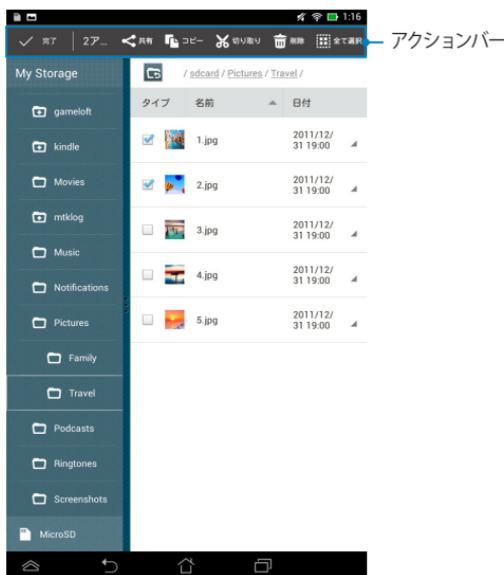
コンテンツのカスタマイズ

ファイルマネージャーで内部ストレージまたは外付けストレージ内のコンテンツをコピー、切り取り、削除することができます。

ファイルまたはフォルダーの脇にあるボックスにチェックを入れると画面右上にアクションバーが表示されます。ファイルやフォルダーのカスタマイズはこのアクションバーで行います。

注:

- **SHARE** はフォルダー内のファイルをカスタマイズするときだけ表示されます。
- ファイルを選択し、移動先までドラッグすることもできます。



設定

本機の各設定を行います。

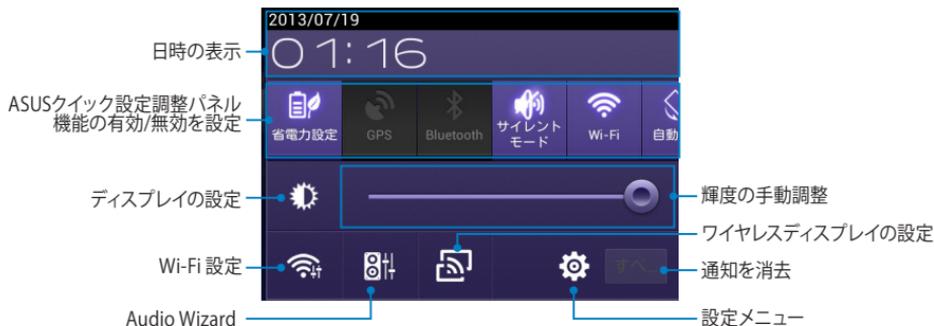
設定項目: 無線とネットワーク、端末、ユーザー設定、アカウント、システム

設定画面の起動方法は2つあります。

1. すべてのアプリ画面で  をタップし、メニューを表示します。
2. 画面上部の通知バーを下方向になぞり、ASUSクイック設定を表示します。



ASUSクイック設定



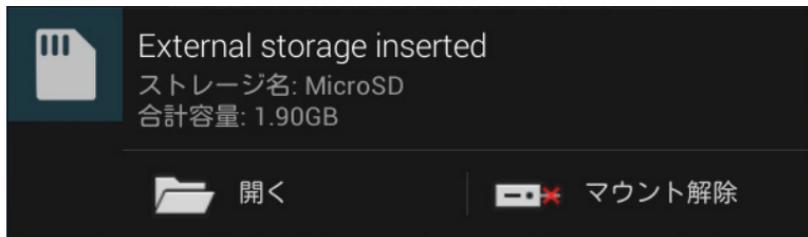
ASUSクイック設定調整パネル

いずれかのアイコンをタップし、機能の有効/無効を切り替えます。



通知パネル

クイック設定パネルで表示され、アプリの更新、着信メール、ユーティリティの状態を通知します。



注: 通知を左または右になぞるとリストから削除されます。

本機の電源をOFFにする

次のいずれかの手順で本機の電源をOFFにすることができます。

- 電源ボタンを約2秒間押し、メッセージが表示されたら「**電源を切る**」をタップし「**OK**」をタップします。
- システムが応答しなくなった場合は、電源スイッチを8秒間以上押しとシステムを強制終了することができます。

重要: システムの強制終了を行うとデータが消失する場合があります。重要なデータは定期的にバックアップを取ることをお勧めします。

本機をスリープモードにする

本機の電源ボタンを1度押します。

Chapter 4:

プリインストール済みのアプリ

プリインストール済みのアプリ

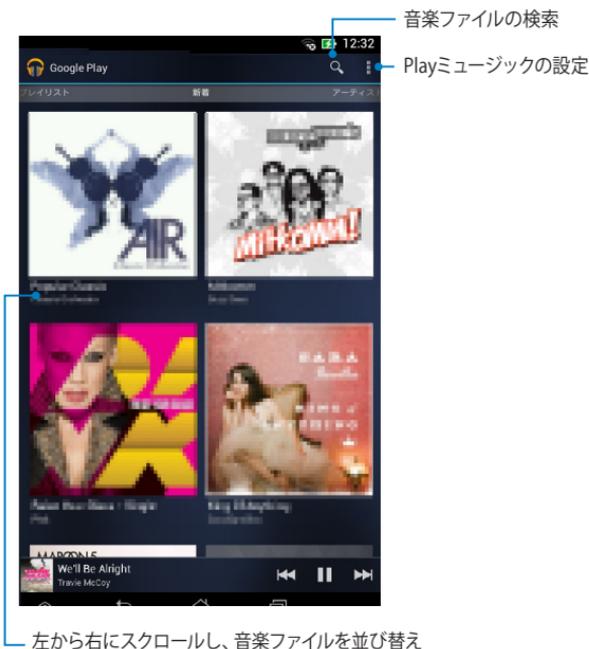
音楽の再生

Playミュージックは音楽ファイルの一括管理が可能な統合型インターフェースです。内部ストレージまたは外付けストレージに保存した音楽ファイルを再生することができます。

すべてのオーディオファイルをランダム再生することができます。また、フリップしてアルバムを選択することもできます。

ホーム画面でをタップし、音楽ファイルを再生します。

Play Music



注:

本機がサポートするオーディオ/ビデオコーデック:

- **デコーダー**

オーディオコーデック: AAC LC/LTP, HE-AACv1(AAC+), HE-AACv2 (enhanced AAC+), AMR-NB, AMR-WB, MP3, FLAC, MIDI, PCM/WAVE, Vorbis, WAV a-law/mu-law, WAV linear PCM, WMA 10, WMA Lossless, WMA Pro LBR

ビデオコーデック: H.263, H.264, MPEG-4, VC-1/WMV, VP8

- **エンコーダー**

オーディオコーデック: AAC LC/LTP, AMR-NB, AMR-WB

ビデオコーデック: H.263, H.264, MPEG-4

カメラ

カメラアプリを使用すれば本機で写真撮影、録画が可能です。

カメラを起動するには、ホーム画面の  をタップし、  をタップします。

注: 画像ファイル、動画ファイルはギャラリーに自動的に保存されます。

カメラの設定



動画の設定

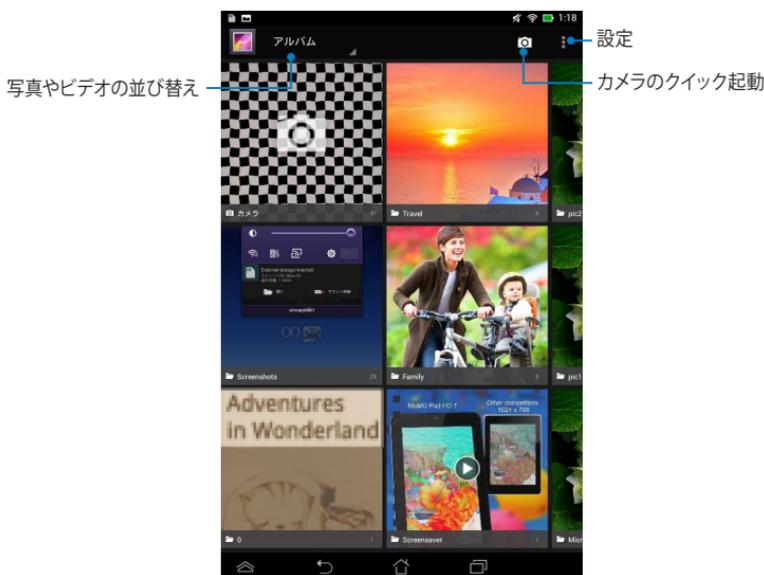


ギャラリー

ギャラリーでは画像の参照や動画の再生が可能です。また、本機に保存した画像や動画ファイルの編集、共有、削除も可能です。ギャラリーでは、スライドショーの再生や画像/動画ファイルの参照が可能です。

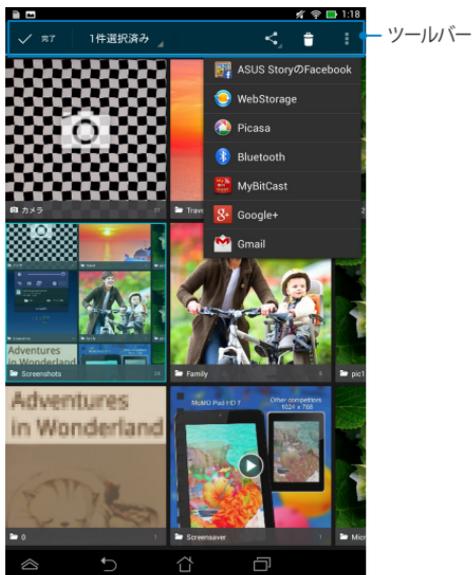
ギャラリーを起動するにはホーム画面の  をタップし、  をタップします。

ギャラリーメイン画面



アルバムの共有と削除

アルバムを供給するには、アルバムをタップ&ホールドしてツールバーを画面上部に表示します。選択したアルバムはインターネットを通じてアップロード、共有が可能です。不要なアルバムは削除することができます。



画像の共有、削除、編集

画像をタップし開き、画面上をタップしてツールバーを起動すると、画像の共有や削除、編集が可能です。

画像の共有

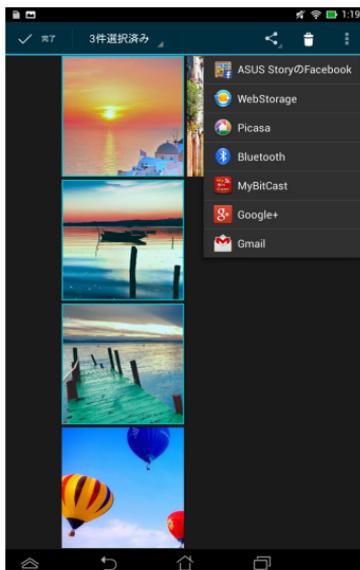
手順

1. ギャラリー画面から共有したい画像が保存されたアルバムを開きます。
2. タップして選択し、 をタップし画像の共有を行うアプリを選択します。



複数の画像を共有する

1. ギャラリー画面から共有したい画像が保存されたアルバムを開きます。
2. 画像を1枚タップし、他の画像もタップします。
3.  をタップし、画像の共有を行うアプリを選択します。



画像の編集

手順

1. ギャラリー画面から編集したい画像が保存されたアルバムを開きます。
2. 画像をタップして開き、をタップし「編集」をタップします。
3. 編集ツールで画像を編集します。



画像の削除

手順

1. ギャラリー画面から削除したい画像が保存されたアルバムを開きます。
2. 画像を1枚タップして開き、をタップします。
3. 「OK」をタップします。

複数の画像を削除する

1. ギャラリー画面から削除したい画像が保存されたアルバムを開きます。
2. 画像を1枚タップし、他の画像もタップします。
3. をタップし、「OK」をタップします。

ウィジェット「ギャラリー」へのアクセス

「フォトギャラリー」ウィジェットでホーム画面から直ぐにお気に入りの画像やアルバムにアクセスすることができます。

ホーム画面でウィジェットを表示する

1.  をタップしすべてのアプリ画面を開きます。
2. 「ウィジェット」タブをタップし、ウィジェットメニューを表示します。
3. 「フォトギャラリー」をタップ&ホールドし、ウィジェットボックスをホーム画面に移動し、「画像の選択」ダイアログボックスを表示します。
4. ホーム画面上にウィジェットとして表示するオプションを「画像の選択」ダイアログボックスから選択します。



メール

POP3アカウント、IMAPアカウント、Exchangeアカウントを追加し、メールを作成、送受信、参照することができます。

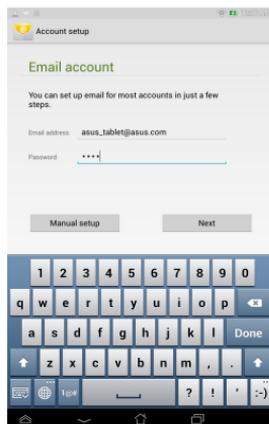
重要: メールアカウントの追加、メールの送受信の際は、インターネット接続が必要となります。

メールアカウントの作成

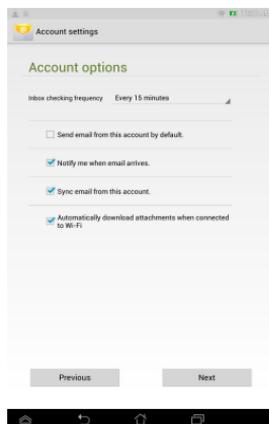
手順

1.  をタップしすべてのアプリ画面を開きます。
2.  をタップし、アプリ「メール」を起動します。
3. メールアドレスとパスワードを入力し、「次へ」をタップします。

注: 本機が受信/送信メールサーバー設定を自動的にチェックします。しばらくお待ちください。



4. 「アカウントオプション」を設定し、「次へ」をタップします。



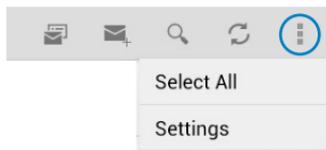
5. 発信メッセージに表示させたいアカウント名を入力し、「次へ」をタップし受信箱にログインします。



メールアカウントの追加

手順

1.  をタップしすべてのアプリ画面を開きます。
2.  をタップし、設定したアカウントでログインします。
3.  → 「設定」の順にタップします。画面右上の「アカウントの追加」をタップします。



Gmail

GmailではGmailアカウントの新規作成、メールの送受信、メールの参照、同期を行うことができます。このアプリを有効にすると、Googleアカウントの入力が必要な他のGoogleアプリにもアクセスできます (Playストア等)。

Gmailアカウントの作成

Gmailアカウントをセットアップする:

1.  をタップしすべてのアプリ画面を開きます。
2.  をタップし、Gmailを起動します。
3. 「**既存のアカウント**」をタップしGmailアカウントとパスワードを入力し、▶️をタップします。

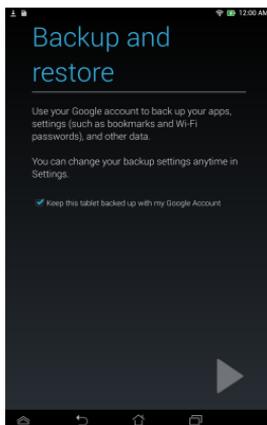
注:

- Googleアカウントをお持ちでない場合は、「**新しいアカウント**」をタップします。
- サインインの際は、本機がGoogleサーバーと通信しアカウントを作成します。完了するまでしばらく時間がかかります。



4. Google アカウントを使用し、ユーザー設定とデータをバックアップ・復元することができます。▶️をタップし、Gmailアカウントにサインインします。

重要: 複数のメールアカウントをGmailに追加する場合は、アプリ「メール」ですべてのメールアカウントに同時にアクセスすることができます。



Play Store

PlayストアではGoogleアカウントを使用し、各種ゲームやアプリをダウンロードすることができます。

重要: GoogleアカウントでPlayストアにアクセスすることができます。

Playストアにアクセスする

手順

1. ホーム画面で  をタップします。
2. Googleアカウントをお持ちの場合は、「**既存のアカウント**」をタップしメールアドレスとパスワードを入力します。アカウント未作成の場合は「**新しいアカウント**」をタップし、画面上の指示に従ってアカウントを作成します。
3. サインイン後は、Playストアからアプリをダウンロードし本機に追加することができます。



注:

- 削除したアプリは復元できませんが、同じIDでログインし再度ダウンロードすることができます。
- 有料アプリを購入される場合は、クレジットカードで支払いを行います。

マップ

施設の検索や、地図の参照、目的地の確認等に使用することができます。また、現在地付近にあるスポットにチェックインし、他のユーザーとそのスポットに関する情報を共有することもできます。

Googleマップを使用する

手順

1.  をタップしすべてのアプリ画面を開き、 をタップします。
2. 画面上部のツールバーをタップし、様々な検索を行います。

ポートレート



ランドスケープ



MyLibrary Lite

書籍を管理するための多機能インターフェースです。ジャンルや本棚で書籍を整理することができます。

MyLibrary Liteを起動するには、をタップしすべてのアプリ画面を開き、をタップします。

MyLibrary Lite

注: MyLibrary Liteがサポートする書籍のファイル形式は「ePub、PDF、TXT」です。

MyLibrary Liteメイン画面

タイトル、作者、日付、My Arrayで整理

書籍検索

書籍の移動、削除

全ての本棚

詳細設定

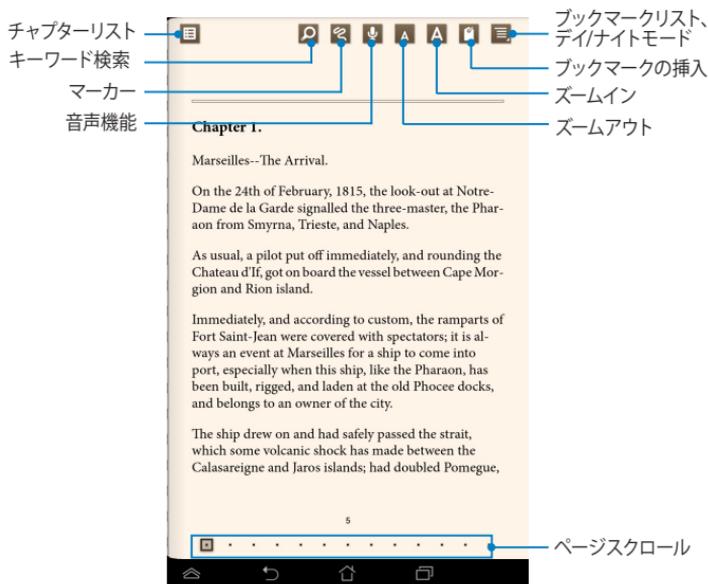
最後に読んだ書籍

選択した本棚に保存した書籍



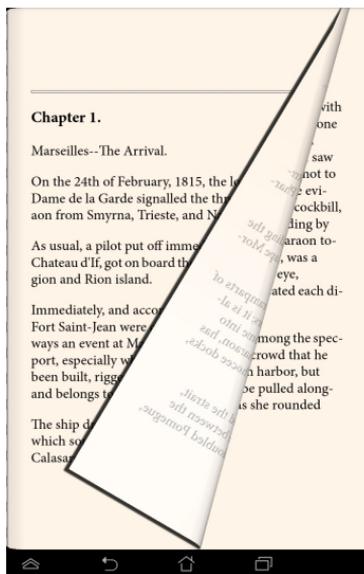
書籍の閲覧

指を右から左になぞれば次のページに、左から右になぞれば前のページに切り替わります。



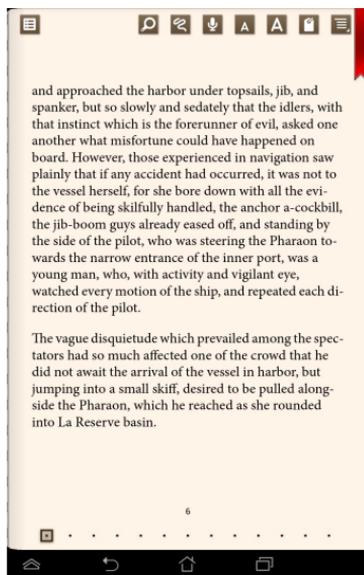
ページをめくる

次のページを開くには画面上を右から左へなぞります。前のページに戻るには左から右になぞります。



ブックマークの挿入

ブックマーク機能を使用すれば、最後に読んだページを簡単に開くことができます。



手順

1. 画面上をタップしツールバーを起動します。
2.  をタップしページにブックマークを挿入します。ブックマークは複数ページに挿入することができます。
3. ブックマークを挿入したページを参照するには、 → 「ブックマークリスト」をタップし、参照したいページをタップします。

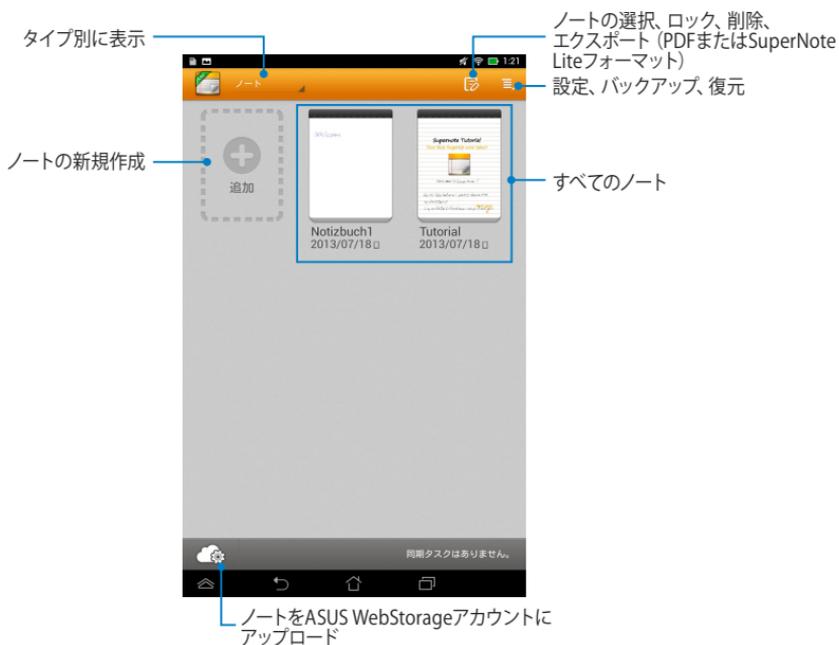
SuperNote Lite

SuperNote Liteではメモや落書き、画像のスクリーンショットや画像の挿入、録音や動画撮影などが簡単に行えます。

ASUS WebStorageアカウントでノートを共有することもできます。

ホーム画面でSuperNote Liteを起動するには、 をタップします。

SuperNote Liteメイン画面



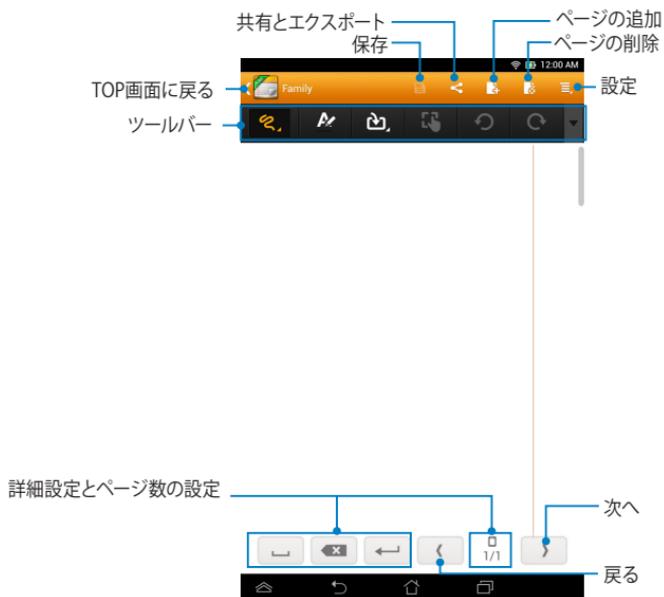
新しいノートの作成

手順

1. 「新しいノート」をタップします。
2. ファイルに名前を付け、ページサイズを「**パッド用**」または「**Phone用**」から選択します。
3. テンプレートを選択します。新しいノートが表示されます。



SuperNote Lite Notebook



注: Write モード、 Type モード、 Draw モードをタップすると、モードの設定とツールバーの表示内容が変化します。

ノートのカスタマイズ

SuperNote Liteでは様々な効果を用意されています。ツールバーの各種効果を使用し、ノートをカスタマイズすることができます。

注: ツールバーの設定内容は選択したモードにより異なります。

手順

1. SuperNote Lite メイン画面でカスタマイズするノートをタップします。
2. ツールバーのアイコンをタップし、ノートを編集します。

注:

- 「書く」モードで▼をタップし、をタップすると、手書き入力時のヒントが表示されます。
- 「書く」モード、「タイプ」モードでは、をタップするとテキストまたは筆跡の色や筆圧を選択することができます。



SuperNote Lite 読み込み専用モード



ノートの名前変更

手順

1. SuperNote Liteメイン画面でファイルをタップ&ホールドし、「名前変更」をタップします。
2. ファイル名を入力し「OK」をタップします。

ノートの非表示

手順

1. SuperNote Liteメイン画面でファイルをタップ&ホールドし、「**ロックし隠す**」をタップします。
2. パスワードを入力し、「**OK**」をタップします。

注:

- ノートを初めて非表示にするときは、パスワードを設定する必要があります。
 - 非表示にしたノートを参照する場合は、 をタップし「**ロックされたノートを表示**」をタップします。
-

ノートの削除

手順

1. SuperNote Liteメイン画面でファイルをタップ&ホールドし、「**削除**」をタップします。
2. 「**削除**」をタップし、ファイルを削除します。

ASUS スタジオ

ASUS スタジオでは本機に保存した写真ファイルとビデオファイルの管理が可能です。写真やビデオの参照や並び替え、写真の編集、各種効果の設定、自分だけのアルバムの作成、SNSでのファイルの共有など、便利な機能をお楽しみいただけます。

ASUS スタジオを起動するには、ホーム画面の  をタップし、  をタップします。

ASUS スタジオメイン画面



保存した写真の参照

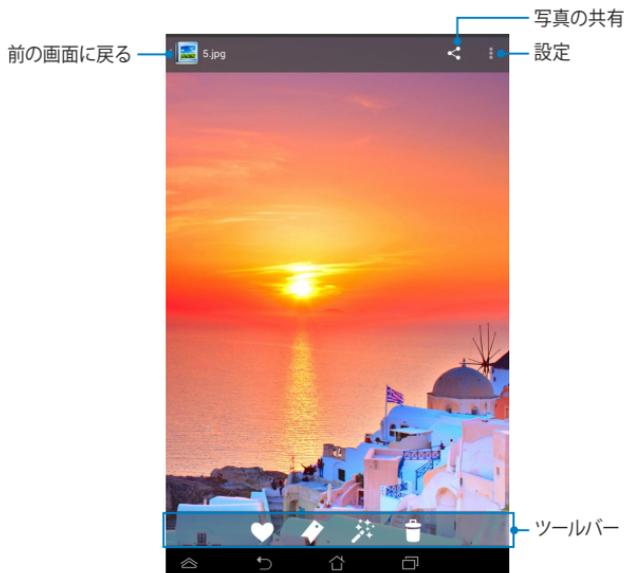
写真を参照するには、写真アルバムを選択し、指を上下になぞり保存した写真をスクロールします。

保存したビデオの再生

保存したビデオを再生するには、ビデオアルバムを選択し、再生したいビデオをタップします。

保存した写真のカスタマイズ

写真をカスタマイズするには、カスタマイズしたい写真を保存したアルバムを開き、写真をタップしツールバーを起動します。



ツールバーでは次の操作が可能です。

-  写真をお気に入りに追加することができます。
-  写真にタグを付け、カテゴリーに分類することができます。
-  写真を編集することができます。
-  写真を削除することができます。

写真の編集

手順

1. ツールバー上の  をタップします。
2. 編集ツールで画像を編集します。



BuddyBuzz

BuddyBuzzはASUS独自のSNS一括管理アプリで、複数のSNSサイトに同時にアクセスすることができます。FacebookやTwitter、Plurk等の複数のSNSアカウントを切り替えることができます。

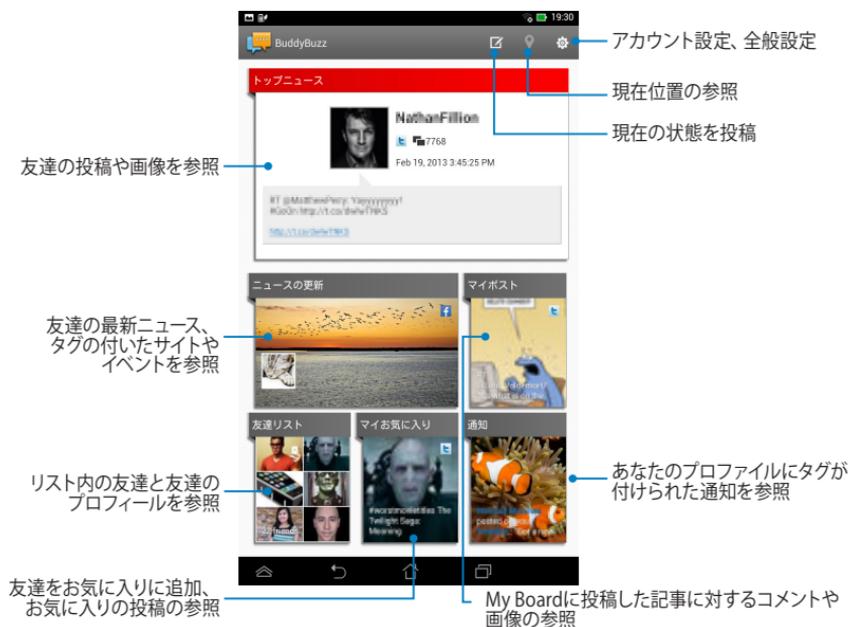
注: BuddyBuzzを初めて使用する際は、SNSアカウントが必要です。

BuddyBuzzの使用

手順

1. ホーム画面  をタップし  をタップします。
2.  をタップし、BuddyBuzzメイン画面を開きます。

BuddyBuzzメイン画面



AudioWizard

AudioWizardでは本機のサウンドモードをカスタマイズし、用途に合ったクリアなサウンドを提供します。

Audio Wizardを起動するには、ホーム画面の  をタップし  をタップします。



AudioWizardの使用

手順

1. AudioWizardウィンドウで使用するサウンドモードをタップします。

注: 保存したサウンドモードを無効にする場合は「**OFF**」をタップします。

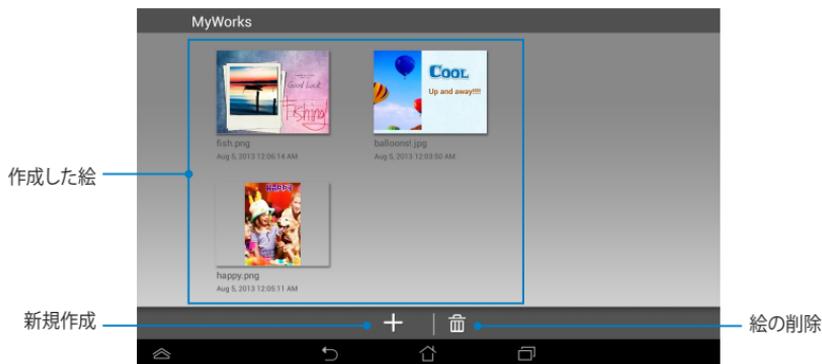
2. 選択したサウンドモードを保存するには、「**OK**」をタップし、ウィンドウを閉じます。

ASUS Artist

ASUS ArtistはASUS独自の画像編集アプリです。画像ファイルの作成や画像に手書き文字、各種効果や写真を追加することができます。

ASUS Artistを起動するには、ホーム画面の  をタップし、  をタップします。

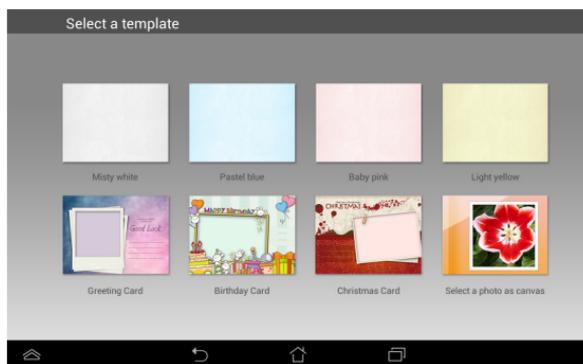
MyWorks画面



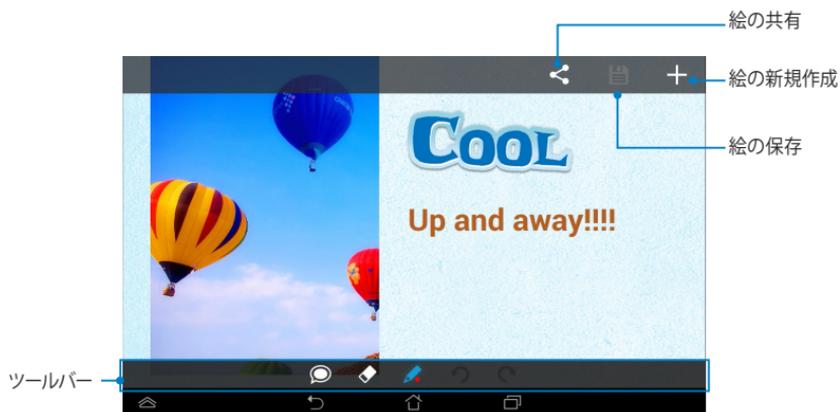
絵の新規作成

手順

1. MyWorks画面で **+** をタップします。
2. テンプレート画面からテンプレートを選択します。



ASUS Artist編集画面



絵の編集

手順

1. MyWorks画面で編集したい絵を選択します。
2. 編集ツールで画像を編集します。

App Locker

App Lockerはアプリをロックし、他のユーザーからのアクセスを制限します。

App Lockerを使用する

手順:

1. ホーム画面の  をタップし、  をタップします。
2. 「開始」をタップし、パスワードを設定し「OK」をタップします。



Set the password

Create the password for App Locker.

New password:
4-12 alphanumeric characters

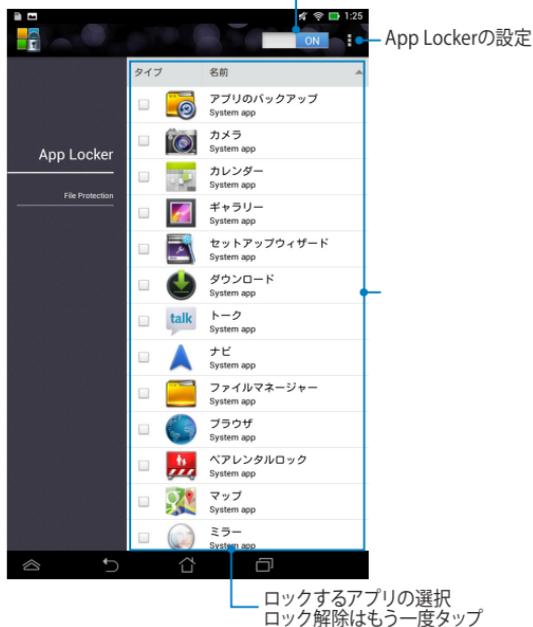
Confirm new password:
4-12 alphanumeric characters

Cancel OK

3. 「OK」をタップし、App Lockerを開きます。

App Locker画面

スライダーを右方向に移動し、App Lockerを有効にしアプリリストを起動



注:

- ロックしたアプリはホーム画面でロック済みアイコンとして表示されます。
- ロックしたアプリにアクセスする際は、毎回パスワードの入力が必要です。

File Protection (ファイルの保護) 画面



File Protection機能を使用する

手順

1. **ファイル/フォルダの追加** をタップしファイルマネージャーを起動します。
2. 保護するファイルをタップして選択し、**適用** をタップします。保護したいファイルは、File Protection画面に表示されます。

アプリのバックアップ

インストールしたアプリとそのデータを本機の内部ストレージまたは外付けストレージにバックアップ、またはパスワード保護することができます。また、ファームウェア更新後、あるいはシステム設定を工場出荷時の状態にリセットした後に、本機から削除されたアプリとデータを復元することができます。

アプリのバックアップを行うには、ホーム画面の  をタップし、  をタップします。

重要:

- アカウント認証が必要なアプリの復旧はできません。
- ファームウェア更新、システムの工場出荷時へのリセットを実行する際は、事前にアプリとデータをmicroSDカードにバックアップしてください。

注: アプリとデータを復元する際は、パスワードの入力が必要です。

バックアップリスト画面



アプリとデータのバックアップ

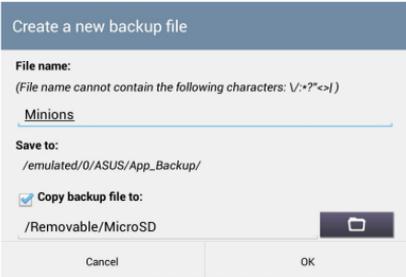
手順

1. アプリバックアップのメイン画面の左メニューから「バックアップリスト」をタップし、バックアップファイルをリスト表示します。

2. バックアップしたいアプリを選択し、 **バックアップ** をタップします。

3. バックアップファイルに名前を付け、「OK」をタップします。

注: バックアップファイルのコピーを保存する場合は、「バックアップファイルのコピー先」を選択し、保存先フォルダーを選択します。



Create a new backup file

File name:
(File name cannot contain the following characters: \/:?*<>|)

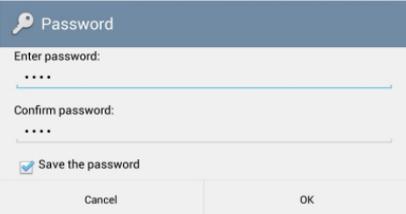
Minions

Save to:
/emulated/0/ASUS/App_Backup/

Copy backup file to:
/Removable/MicroSD

Cancel OK

4. バックアップファイル用のパスワードを設定し、「OK」をタップします。



Password

Enter password:
.....

Confirm password:
.....

Save the password

Cancel OK

5. 「OK」をタップしアプリケーションのバックアップを開始します。



Application Backup

The backup process may take a while.

Please do not shut down your device nor use the selected backup applications. Please do not remove the external storage device at this time.

Do you want to proceed?

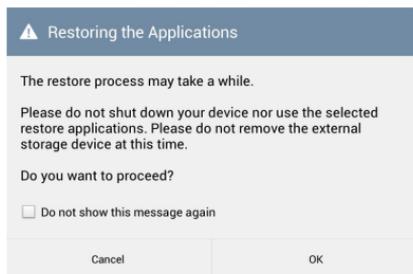
Do not show this message again

Cancel OK

アプリとデータの復元

手順

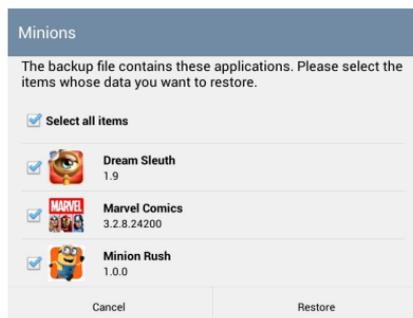
1. アプリバックアップのメイン画面の左メニューから「復元リスト」をタップし、バックアップファイルをリスト表示します。
2. 復元したいファイルを選択し、「OK」をタップします。



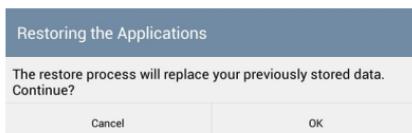
3. バックアップファイル作成時に設定したパスワードを入力し、「OK」をクリックします。



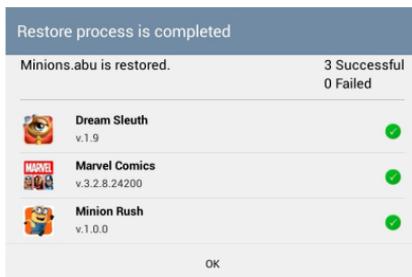
4. 復元したいファイルを選択し、「OK」をタップします。



5. 「OK」をタップし、システム内のアプリを復元します。



6. 完了したら「OK」をタップします。



ウィジェット

ウィジェットはホーム画面のアプリへのショートカットとして機能します。

ウィジェットを参照するには、ホーム画面のをタップし、「ウィジェット」をタップします。

ウィジェットをホーム画面に表示する

ウィジェット画面で指を左右になぞり、ウィジェットを選択します。ウィジェットをタップ&ホールドし、そのままホーム画面にドラッグします。

重要:

- ウィジェットを使用する前に、追加タスク（登録や有効化）を促すメッセージが表示される場合があります。
 - 画面上にウィジェットを移動する場所が足りない場合は、ウィジェットは追加されません。
-

ウィジェットをホーム画面から削除する

ホーム画面上のウィジェットを「× 削除」が表示されるまでタップ&ホールドします。そのまま「× 削除」にドラッグし、ホーム画面から削除します。



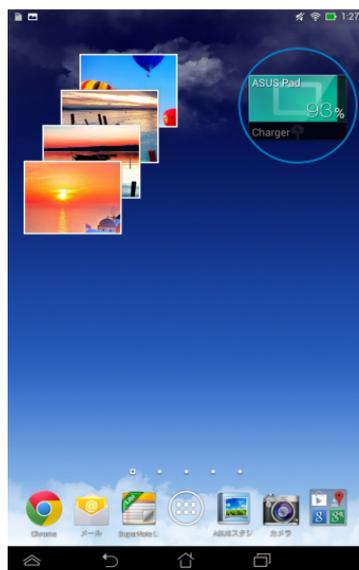
ASUS Battery

ASUSバッテリーは本機と接続したアクセサリーのバッテリーの状況を参照できるウィジェットです。

ASUSバッテリーウィジェットを参照するには、ホーム画面の ⊞ をタップし、「ウィジェット」をタップします。

ASUSバッテリーウィジェットをホーム画面に表示する

ウィジェット画面で指を左右になぞり、ASUSバッテリーウィジェットを探します。ウィジェットをタップ&ホールドし、そのままホーム画面にドラッグします。



注: MeMO Padのバッテリーの状態はASUSクイック設定とタスクトレイでも参照することができます。詳細は、「ASUSクイック設定」または「通知パネル」をご参照ください。

付録

Federal Communications Commission Statement (原文)

This device complies with FCC Rules Part 15. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference.
- This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment causes harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by doing one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

The antenna(s) used for this transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Operation on the 5.15-5.25 GHz frequency band is restricted for indoor use only. The FCC requires indoor use for the 5.15-5.25 GHz band to reduce the potential for harmful interference to co-channel Mobile Satellite Systems. It will only transmit on 5.25-5.35 GHz, 5.47-5.725 GHz and 5.725-5.850 GHz bands when associated with an access point (AP).

RF Exposure Information (SAR) (原文)

This device meets the government's requirements for exposure to radio waves. This device is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The exposure standard employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the EUT transmitting at the specified power level in different channels.

The highest SAR value for the device as reported to the FCC is 1.12 W/kg when placed next to the body.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this device is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of www.fcc.gov/oet/ea/fccid after searching on FCC ID: MSQK00B.

Canada, Industry Canada (IC) Notices

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003 and RSS-210.

Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device. The IC ID for this device is 3568A-K00B.

Radio Frequency (RF) Exposure Information

The radiated output power of the Wireless Device is below the Industry Canada (IC) radio frequency exposure limits. The Wireless Device should be used in such a manner such that the potential for human contact during normal operation is minimized.

This device has been evaluated for and shown compliant with the IC Specific Absorption Rate ("SAR") limits when installed in specific host products operated in portable exposure conditions.

Canada's REL (Radio Equipment List) can be found at the following web address: <http://www.ic.gc.ca/app/sitt/reldtel/srch/nwRdSrch.do?lang=eng>

Additional Canadian information on RF exposure also can be found at the following web address: <http://www.ic.gc.ca/eic/site/smt-gst.nsf/eng/sf08792.html>

Canada, avis d'Industrie Canada (IC)

Cet appareil numérique de classe B est conforme aux normes canadiennes ICES-003 et RSS-210.

Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes: (1) cet appareil ne doit pas causer d'interférence et (2) cet appareil doit accepter toute interférence, notamment les interférences qui peuvent affecter son fonctionnement. L'identifiant IC de cet appareil est 3568A-K00B.

Informations concernant l'exposition aux fréquences radio (RF)

La puissance de sortie émise par cet appareil sans fil est inférieure à la limite d'exposition aux fréquences radio d'Industrie Canada (IC). Utilisez l'appareil sans fil de façon à minimiser les contacts humains lors du fonctionnement normal.

Ce périphérique a été évalué et démontré conforme aux limites SAR (Specific Absorption Rate – Taux d'absorption spécifique) d'IC lorsqu'il est installé dans des produits hôtes particuliers qui fonctionnent dans des conditions d'exposition à des appareils portables.

Ce périphérique est homologué pour l'utilisation au Canada. Pour consulter l'entrée correspondant à l'appareil dans la liste d'équipement radio (REL - Radio Equipment List) d'Industrie Canada rendez-vous sur: <http://www.ic.gc.ca/app/sitt/reitel/srch/nwRdSrch.do?lang=eng>

Pour des informations supplémentaires concernant l'exposition aux RF au Canada rendez-vous sur: <http://www.ic.gc.ca/eic/site/smt-gst.nsf/eng/sf08792.html>

IC Warning Statement

The device could automatically discontinue transmission in case of absence of information to transmit, or operational failure. Note that this is not intended to prohibit transmission of control or signaling information or the use of repetitive codes where required by the technology.

The device for the band 5150-5250 MHz is only for indoor usage to reduce potential for harmful interference to co-channel mobile satellite systems; the maximum antenna gain permitted (for device in the bands 5250-5350 MHz and 5470-5725 MHz) to comply with the EIRP limit; and the maximum antenna gain permitted (for devices in the band 5275-5850 MHz) to comply with the EIRP limits specified for point-to-point and non point-to-point operation as appropriate, as stated in section A9.2(3). In addition, high-power radars are allocated as primary users (meaning they have priority) of the band 5250-5350 MHz and this radar could cause interference and/or damage to LE-LAN devices.

The Country Code Selection feature is disabled for products marketed in the US/Canada. For product available in the USA/Canada markets, only channel 1-11 can be operated. Selection of other channels is not possible.

EC Declaration of Conformity

This product is compliant with the regulations of the R&TTE Directive 1999/5/EC. The Declaration of Conformity can be downloaded from <http://support.asus.com>.

聴覚障害を防ぐため

イヤホンやヘッドホンからの過度な音圧は、難聴などの聴覚障害の原因となる場合があります。ボリュームコントロールやイコライザーを基準値以外に設定した場合、イヤホンやヘッドホンの出力電圧が増加し音圧が高くなる場合があります。ご注意ください。



À pleine puissance, l'écoute prolongée du baladeur peut endommager l'oreille de l'utilisateur.

For France, as required by French Article L. 5232-1, this device is tested to comply with the Sound pressure requirement in NF EN 50332-1:2000 and NF EN 50332-1:2003 standards.

CE Mark Warning



CE marking for devices without wireless LAN/Bluetooth

The shipped version of this device complies with the requirements of the EEC directives 2004/108/EC "Electromagnetic compatibility" and 2006/95/EC "Low voltage directive".

The highest CE SAR value for this device is 0.383 W/Kg.

RF Exposure information (SAR) - CE

This device meets the EU requirements (1999/519/EC) on the limitation of exposure of the general public to electromagnetic fields by way of health protection.

The limits are part of extensive recommendations for the protection of the general public. These recommendations have been developed and checked by independent scientific organizations through regular and thorough evaluations of scientific studies. The unit of measurement for the European Council's recommended limit for mobile devices is the "Specific Absorption Rate" (SAR), and the SAR limit is 2.0 W/Kg averaged over 10 gram of body tissue. It meets the requirements of the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP).

For next-to-body operation, this device has been tested and meets the ICNRP exposure guidelines and the European Standard EN 62311 and EN 62209-2. SAR is measured with the device directly contacted to the body while transmitting at the highest certified output power level in all frequency bands of the mobile device.

Power Safety Requirement

Products with electrical current ratings up to 6A and weighing more than 3Kg must use approved power cords greater than or equal to: H05VV-F, 3G, 0.75mm² or H05VV-F, 2G, 0.75mm².

Regional notice for Singapore

Complies with
IDA Standards
DB103778

This ASUS product complies with IDA Standards.

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピューター、ノートパソコン等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉砕され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

電気・電子機器に含有される化学物質の表示について



資源有効利用促進法では、JIS C 0950: 2008 (J-Moss) の定める規格により、製造元に対し特定の電気・電子機器に含まれる化学物質の情報提供を義務付けています。J-Moss とは、電気・電子機器に含有される化学物質の表示に関する JIS規格の略称で、正式名称は

「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」です。なお、この規格は2008年8月1日より適用されています。

この規格に関する詳細情報はASUSのサイト (<http://csr.asus.com>) に記載の「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」をご参照ください。

注: コンテンツは全て英語表記です。

筐体のコーティングについて

重要: 感電などを防ぐため、本機は絶縁処理が施されている筐体を使用しています (入出力ポート搭載部分を除く)。

自動車の運転

運転する際は、本機を使用しないでください。自動車等 (自動車及び原動機付自転車) の運転中は、道路交通法により携帯端末の使用は当該自動車等の停止中を除き禁止されています。携帯電話での走行中のイヤホンマイクやハンズフリーでの通話も違法行為と対象となります。いかなる機械をつかっても走行中の携帯電話の通信は違法とされています。

運転中は運転モード設定し、運転終了後にメッセージ等を確認することをお勧めします。やむをえない場合を除き、運転中に携帯端末を使用しないでください。

エアバッグやその収納場所をもので覆わないでください。エアバッグ作動時の展開力は大きく、展開時の衝撃で飛ばされ危険です。

電子機器

殆どの電子機器は無線周波数エネルギーの影響を受けないよう設計されていますが、電子機器によっては本機の無線周波数エネルギーの影響を受ける場合があります。

ペースメーカー

保健機器製造業者協会 (Health Industry Manufacturers' Association) は、ペースメーカーの誤作動を防ぐため、携帯端末との距離を最低6インチ以上保つよう推奨しています。この推奨距離は、Wireless Technology Researchの独自調査結果による推奨距離にも一致しています。

ペースメーカーをご使用の場合:

- 本機から6インチ (約15cm) 以上離して使用してください。
- 本機を胸ポケットに入れしないでください。
- 通話の際は、ペースメーカーとは反対側の耳で通話を行ってください。
- 万が一誤作動が発生した場合は、即座に本機の電源をOFFにしてください。

補聴器など

特定のデジタルフォンは補聴器等の電子機器に影響を及ぼす場合があります。そのような場合は、ASUSカスタマーサービスにご相談ください。

その他の医療機器

医療機器によっては外部無線周波数 (RF) エネルギーの影響を受けるものもあります。その他の医療機器をご使用の場合は、外部無線周波数 (RF) エネルギーの及ぼす影響について、製造元にご確認ください。もしくは、かかりつけの医師にご相談ください。

本機を医療機関内で使用する際は、医療機関内の指示や表示に従ってください。医療機関では外部無線周波数 (RF) エネルギーの影響を受ける医療機器を使用している場合があります。

自動車内の装備

無線周波数信号は自動車内に不適切に取り付けられたシステムに悪影響を及ぼす場合があります。無線周波数信号の及ぼす影響については製造元にご確認ください。また、自動車内に追加装備したシステムについても製造元にご確認ください。

標識、表示等

危険物の表示や標識のある場所では、本機の電源をOFFにしてください。

磁気メディア

携帯端末が発する磁場により、クレジットカードや磁気ディスク等の磁気メディアがダメージを受ける場合があります。本機をそのようなメディアに近づけないでください。

本機を強力な磁気に晒さないでください。誤作動の原因となる場合があります。

その他の安全に関するガイドライン

航空機での使用

航空法等の既定により、機内での電子機器の使用は禁止されています。航空機内では本機の電源をOFFにする、または無線接続をOFFにしてください。

爆発物を扱う場所

爆発物を取り扱う場所で本機を使用しないでください。また、周囲の表示の指示に従ってください。

爆発のおそれのある場所

爆発のおそれのある場所では、本機の電源をOFFにしてください。また、標識や表示のある場合はその指示に従ってください。

発生した火花により爆発物が引火し、火災や爆発事故を起こす可能性があります。

爆発のおそれのある場所では、通常、表示や標識が設置されています。ガソリンスタンド等の給油施設、船舶の燃料タンク、燃料・化学物質の輸送・備蓄施設、プロパンやブタン等の液化石油ガスを使用する自動車、穀物や粉塵、金属粉等を含む気体を扱う場所、また通常携帯端末の使用が適切ではない場所で本機を使用しないでください。

誤飲、窒息

SIMカード等の小さな部品は、ペットや子供の手が届かない場所に保管してください。誤飲、窒息の原因となります。

廃棄・リサイクルについて



バッテリーは製造元が指定する物をご使用ください。それ以外の物を使用した場合、爆発や本機の故障の原因となります。バッテリー廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。



禁止: 本機のバッテリーを通常ゴミとして廃棄しないでください。廃棄の際は地域の条例等に従ってください。



本機を一般ゴミとして廃棄しないでください。本機はリサイクル可能な設計がされています。廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。



本機を火中に投げないでください。回路をショートさせないでください。本機を分解しないでください。

モデル名: K00B (ME173X)

Manufacturer:	ASUSTeK Computer Inc.
Address:	4F, No.150, LI-TE RD., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN
Authorised representative in Europe:	ASUS Computer GmbH
Address:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN, GERMANY

EC Declaration of Conformity



We, the undersigned,

Manufacturer:	ASUSTeK COMPUTER INC.
Address, City:	4F, No. 150, LI-TE Rd., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN
Country:	TAIWAN
Authorized representative in Europe:	ASUS COMPUTER GmbH
Address, City:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN
Country:	GERMANY

declare the following apparatus:

Product name :	ASUS MeMO Pad
Model name :	K00B

conform with the essential requirements of the following directives:

2004/108/EC-EMC Directive

<input checked="" type="checkbox"/> EN 55022:2010 / AC:2011	<input checked="" type="checkbox"/> EN 55024:2010
<input checked="" type="checkbox"/> EN 61000-3-2:2006+A1:2009+A2:2009	<input checked="" type="checkbox"/> EN 61000-3-3:2008
<input type="checkbox"/> EN 55013:2001+A1:2003+A2:2006	<input type="checkbox"/> EN 55020:2007+A11:2011

1999/5/EC-R & TTE Directive

<input checked="" type="checkbox"/> EN 300 328 V1.7.1(2006-10)	<input checked="" type="checkbox"/> EN 301 489-1 V1.9.2(2011-09)
<input checked="" type="checkbox"/> EN 300 440-1 V1.6.1(2010-08)	<input checked="" type="checkbox"/> EN 301 489-3 V1.4.1(2002-08)
<input checked="" type="checkbox"/> EN 300 440-2 V1.4.1(2010-08)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-4 V1.4.1(2009-05)
<input type="checkbox"/> EN 301 511 V9.0.2(2003-03)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-7 V1.3.1(2005-11)
<input type="checkbox"/> EN 301 908-1 V5.2.1(2011-05)	<input type="checkbox"/> EN 301 489-9 V1.4.1(2007-11)
<input type="checkbox"/> EN 301 908-2 V5.2.1(2011-07)	<input checked="" type="checkbox"/> EN 301 489-17 V2.2.1(2012-09)
<input type="checkbox"/> EN 301 893 V1.6.1(2011-11)	<input checked="" type="checkbox"/> EN 301 489-24 V1.5.1(2010-09)
<input type="checkbox"/> EN 302 544-2 V1.1.1(2009-01)	<input type="checkbox"/> EN 302 326-2 V1.2.2(2007-06)
<input type="checkbox"/> EN 302 623 V1.1.1(2009-01)	<input type="checkbox"/> EN 302 326-3 V1.3.1(2007-09)
<input type="checkbox"/> EN 50360:2001	<input type="checkbox"/> EN 301 357-2 V1.4.1(2008-11)
<input checked="" type="checkbox"/> EN 62479:2010	<input type="checkbox"/> EN 302 291-1 V1.1.1(2005-07)
<input type="checkbox"/> EN 50385:2002	<input type="checkbox"/> EN 302 291-2 V1.1.1(2005-07)
<input checked="" type="checkbox"/> EN 62311:2008	<input checked="" type="checkbox"/> EN 62209-2:2010

2006/95/EC-LVD Directive

<input checked="" type="checkbox"/> EN 60950-1 / A12:2011	<input type="checkbox"/> EN 60065:2002 / A12:2011
---	---

2009/125/EC-ErP Directive

<input type="checkbox"/> Regulation (EC) No. 1275/2008	<input checked="" type="checkbox"/> Regulation (EC) No. 278/2009
<input type="checkbox"/> Regulation (EC) No. 642/2009	

2011/65/EU-RoHS Directive

Ver. 130208

CE marking

CE 0700

(EC conformity marking)

Position : **CEO**

Name : **Jerry Shen**

Declaration Date: **05/15/2013**

Year to begin affixing CE marking: **2013**

Signature : _____

